



赤嶺 謙二

豊後大野市の未来は

質問

希望の持てる新市とするために何が必要か。

答弁 市長

「市民が参加する協働・共創のまちづくり」を基本として、目標達成のため全市を挙げての取り組みが必要です。その前段としてスケールメリットを活かした経費の削減、組織・機構の再構築、職員の適正な人事管理や配置といった行財政基盤の強化が必要と考えています。

質問

新設高校への取り組みは

来々年4月から新設される総合選択制高校を、本市を代表する高校として育てるために保護者と住民の意見・要望などを集約する組織・団体の構築は。

答弁 教育長

市としても応援的な組織を検討し、高校問題に取り組みたい。

公立おがた総合病院

質問

「公立医療施設評価委員会」の設置はいつ行なうのか。また、位置づけと具体的な任務は。

答弁 企画部長

早急に委員会を立ち上げたい。位置づけは執行機関の附属機関であり、任務は地方公営企業法の全部適用への移行状況や経営状況の検証を行ないます。

2巡目国体の負担

質問

大分国体の本市での開催種目と負担額は。経済効果は。大原総合グラウンド利用者への支援は。

答弁 教育次長

馬術7千6百万円、剣道1億9千万円、ソフトボール1千6百万円、山岳2千3百万円、カヌーは県が負担するので市の負担は無い。

その他としてトイレなどの設置に数千万円、合計3億円を超える。経済効果は、1億6千万円以上を見込んでいます。大原グラウンド利用者への支援は、代替地として県に2カ所要望しています。



来々年4月開校の新設高校建設現場
(三重農業高校東側)



清田 満作

基本構想は？

自治会をどのように

質問

施策推進の基本的構想と方向性を問う。

答弁 市長

基本方針は行政基盤の強化、個性と魅力ある地域づくり、生きがいと安らぎ、快適さを実感できる里づくり、働きがいのある産業基盤づくりを考えています。

質問

地域の自治会や地域審議会と行政の連携は。またいかにして地域の活力を結びつけるのか。

答弁 企画部長

市からの依頼事項や地域の問題を連絡していただくなど自治会と行政との連絡調整を緊密に図りたい。まちづくり委員会は住民の声を反映する重要な役割を担っており、その答申内容は今後、十分に活用していきます。

質問

合併協議の確認項目をさらに検討し、施策は住民の必要性、利便性に重点を置くべきです。

答弁 企画部長

基本的な方向性は堅持し、

市民の要望意見を最大限汲みいれ、現実的な施策に努めていきます。

質問

安全・安心な食糧基地としての産業振興策、また福祉施策は旧町村での取り組み、特性を活かすべきだ。特に高齢者や社会的に弱い立場とされる皆さんへの対応が重要と考えます。

答弁 市長

産業、福祉施策はこれまでの各地域の特性を活かした施策は尊重したい。高齢者をはじめ、自立生活を支援する事業は優先的に実施します。



自治委員さん お世話になります
(委嘱状交付式)